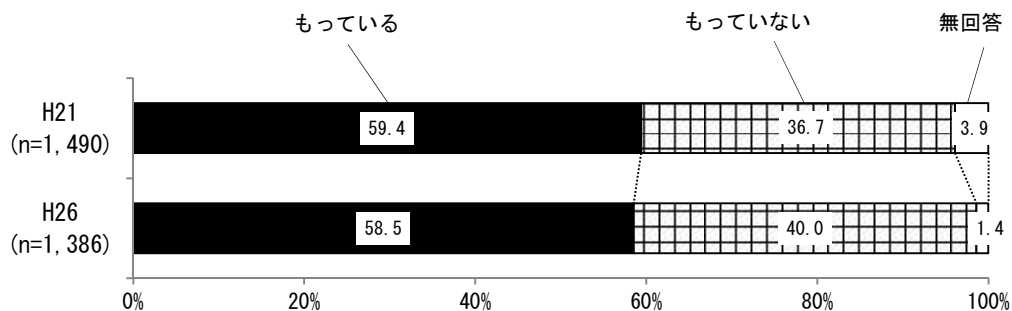


5. ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について

（1）仕事の有無

問 12 現在、職業（自営も含む）をもっているかどうか。（○印は1つ）

【図表 12-1 仕事の有無】



◆回答者のうち、仕事をもっている人が6割

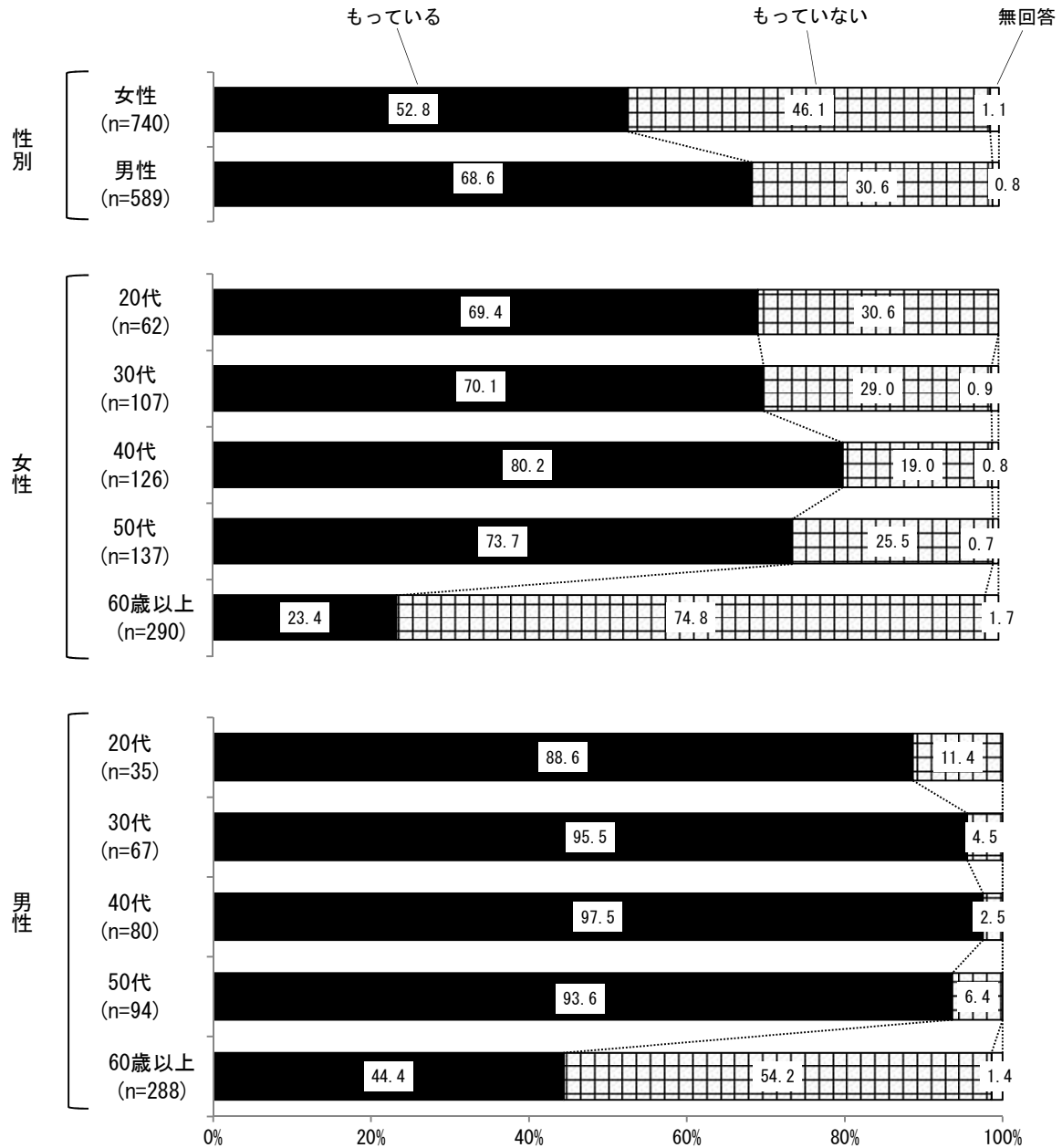
仕事の有無について、仕事をもっている人 58.5%で、もっていない人（40.0%）を 18.5 ポイント上回っている。

<性別、性・年齢別>

性別にみると、仕事を「もっている」は男性（68.6%）が女性（52.8%）を15.8ポイント上回っている。

性・年齢別にみると、女性は60歳以上を除いて7割程度が仕事をもっているが、男性は、60歳以上を除いて9割程度が仕事をもっている。

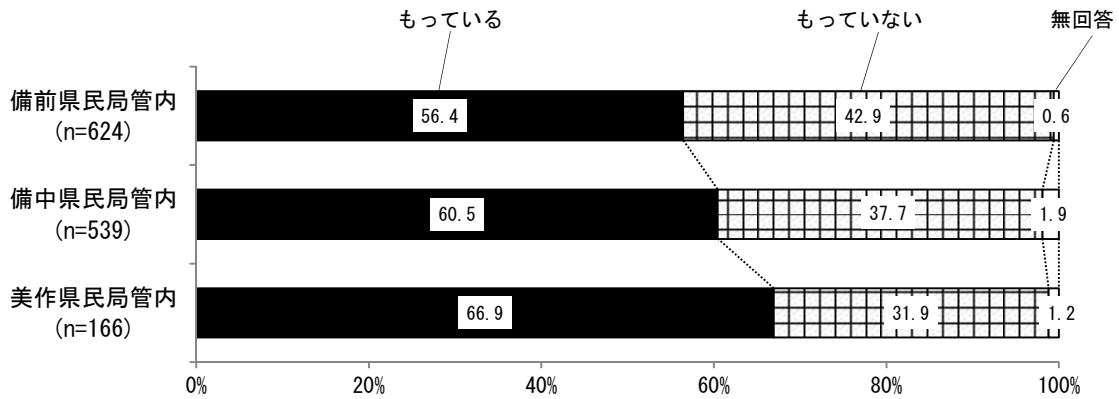
【図表 12-2 仕事の有無（性別、性・年齢別）】



<地域別 1>

美作県民局管内は仕事を「もっている」(66.9%)が最も高く、備前県民局管内(56.4%)を10.5ポイント上回っている。

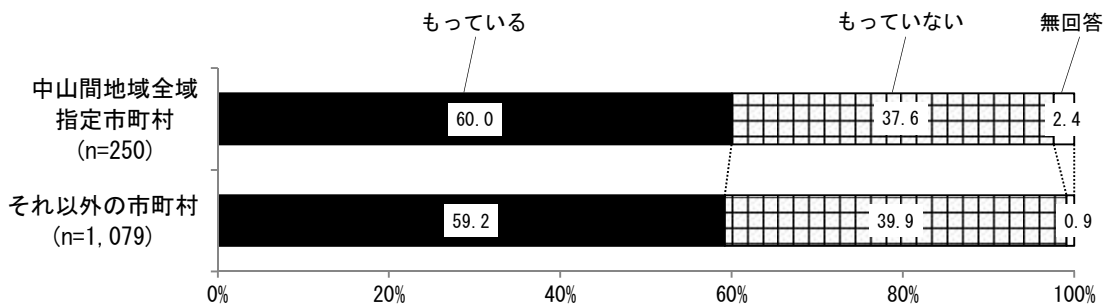
【図表 12-3 仕事の有無(地域別 1)】



<地域別 2>

いずれの地域も、「もっている」が6割程度と、大きな差はみられない。

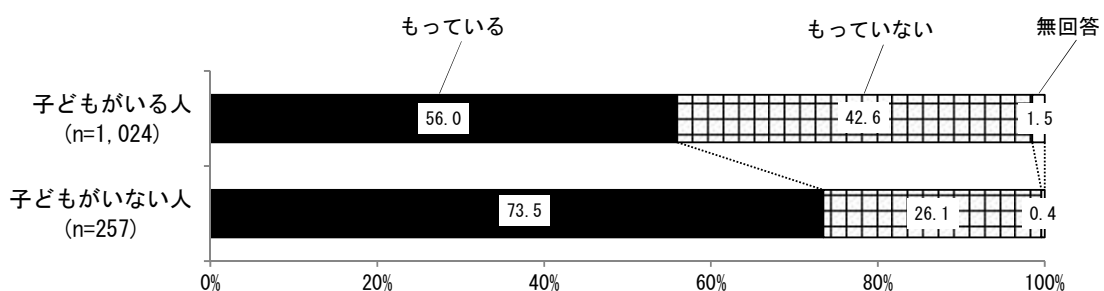
【図表 12-4 仕事の有無(地域別 2)】



<子どもの有無別>

「子どもがいない人」は73.5%が仕事をもっており、「子どもがいる人」(56.0%)を17.5ポイント上回っている。

【図表 12-5 仕事の有無(子どもの有無別)】

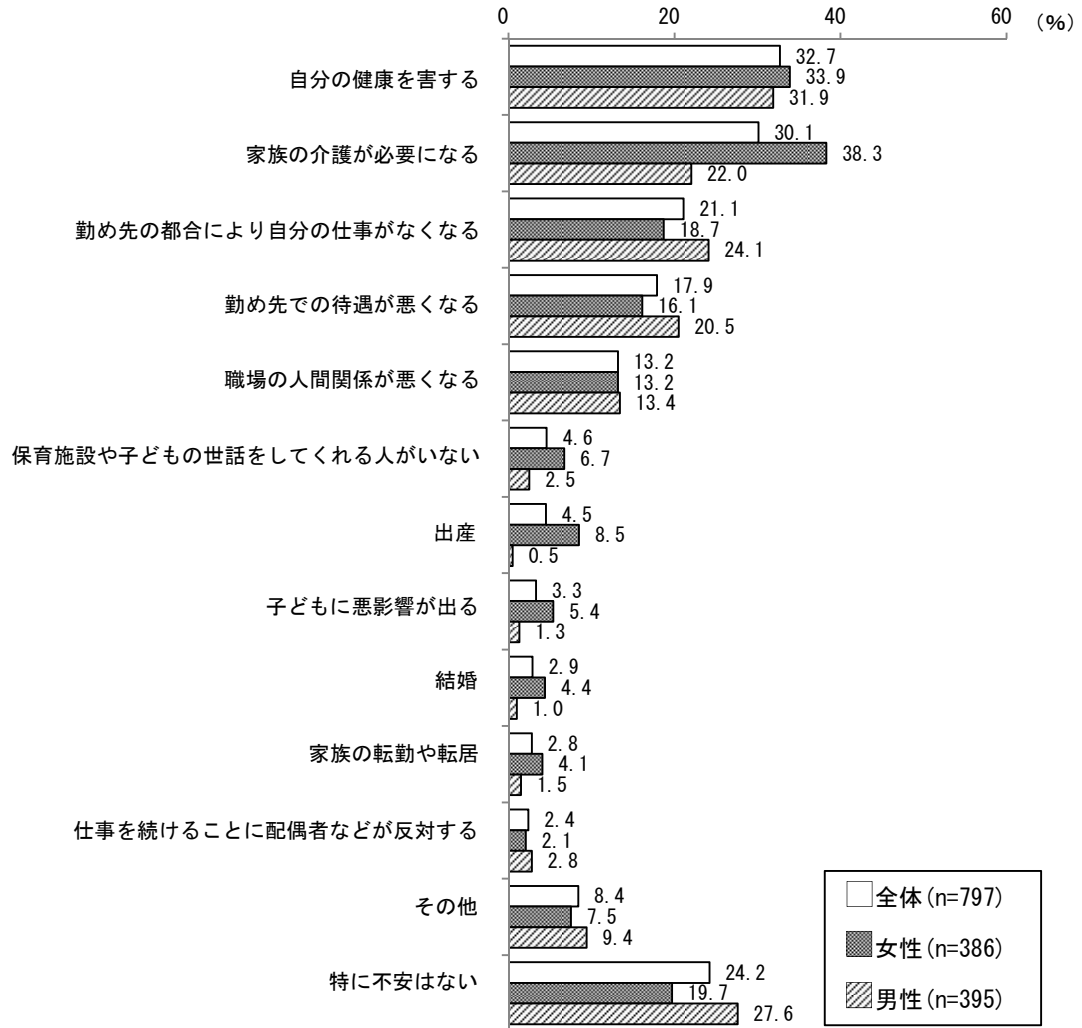


(2) 仕事の継続に対する不安

問 12 で、1 と答えた方のみお答えください。

問 13-1 あなたは、現在、今の仕事を続けたくとも続けられなくなるかもしれないという不安がありますか。それはどのようなことから生じる不安ですか。(○印はいくつでも)

【図表 13-1-1 仕事を続けられなくなる不安】



◆女性は男性に比べて「家族の介護」、「出産」などの要因が高い

仕事を続けられなくなる不安について、「自分の健康を害する」が 32.7% と最も高く、次いで「家族の介護が必要になる」(30.1%)、「勤め先の都合により自分の仕事がなくなる」(21.1%) などの順となっている。

「家族の介護が必要になる」は女性(38.3%)が男性(22.0%)を 16.3 ポイント、「出産」は女性(8.5%)が男性(0.5%)を 8.0 ポイント上回っている。

<性・年齢別>

女性は、20代で「出産」、30代から50代で「家族の介護が必要になる」が最も高くなっている。

男性は、30代、40代で「勤め先の都合により自分の仕事がなくなる」、50代で「家族の介護が必要になる」が最も高くなっている。

【図表 13-1-2 仕事を続けられなくなる不安（性・年齢別）】

(単位:%)

		1位		2位		3位		
女性	20代	出産	39.5	職場の人間関係が悪くなる		27.9		
				自分の健康を害する				
	30代	家族の介護が必要になる	28.0	自分の健康を害する	26.7	特に不安はない	25.3	
	40代	家族の介護が必要になる	43.0	自分の健康を害する	35.0	勤め先の都合により自分の仕事がなくなる	26.0	
	50代	家族の介護が必要になる	59.4	自分の健康を害する	46.5	勤め先の都合により自分の仕事がなくなる	22.8	
	60歳以上	特に不安はない	31.3	自分の健康を害する	26.6	家族の介護が必要になる	23.4	
男性	20代	勤め先での待遇が悪くなる	38.7	職場の人間関係が悪くなる	35.5	自分の健康を害する	32.3	
	30代	勤め先の都合により自分の仕事がなくなる	35.5	自分の健康を害する		25.8		
				特に不安はない				
	40代	勤め先の都合により自分の仕事がなくなる			36.8	職場の人間関係が悪くなる		27.6
		自分の健康を害する						
50代	家族の介護が必要になる	35.2	自分の健康を害する	29.5	特に不安はない	27.3		
	60歳以上	自分の健康を害する	34.1	特に不安はない	31.0	家族の介護が必要になる	18.3	

<地域別 1>

すべての地域で、「自分の健康を害する」が最も高く、次いで「家族の介護が必要になる」、「特に不安はない」の順となっている。

【図表 13-1-3 仕事を続けられなくなる不安（地域別 1）】

(単位:%)

備前県民局管内		備中県民局管内		美作県民局管内		
1位	自分の健康を害する	34.1	自分の健康を害する	30.8	自分の健康を害する	36.0
2位	家族の介護が必要になる	30.7	家族の介護が必要になる	30.2	家族の介護が必要になる	30.6
3位	特に不安はない	22.9	特に不安はない	25.2	特に不安はない	24.3

<地域別 2>

中山間地域全域指定市町村は「家族の介護が必要になる」、それ以外の市町村は「自分の健康を害する」が最も高くなっている。

【図表 13-1-4 仕事を続けられなくなる不安（地域別 2）】

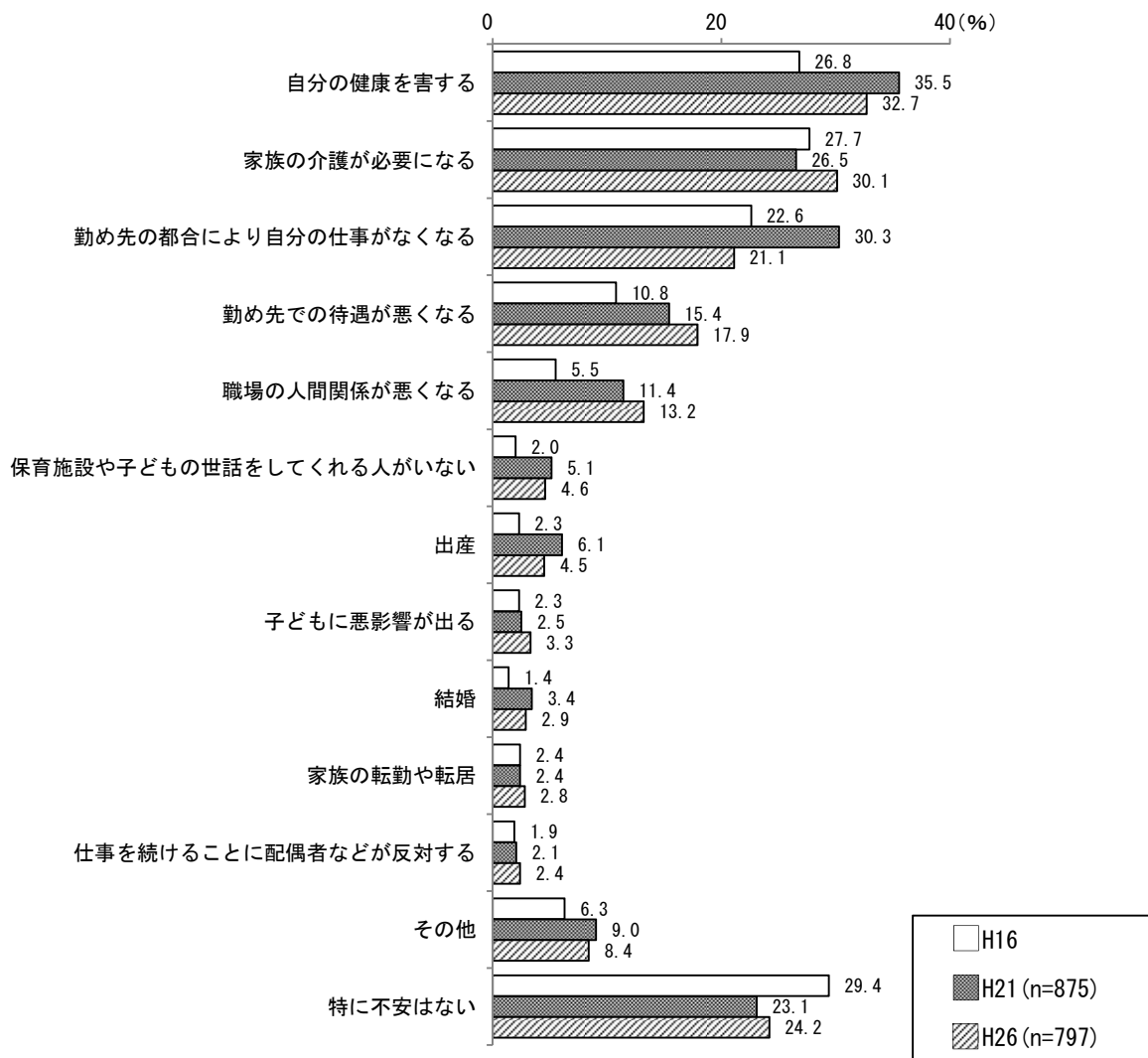
(単位:%)

中山間地域全域指定市町村		それ以外の市町村		
1位	家族の介護が必要になる	36.7	自分の健康を害する	32.3
2位	自分の健康を害する	36.1	家族の介護が必要になる	29.0
3位	特に不安はない	25.9	特に不安はない	23.6

＜前回調査との比較＞

H21年調査と比べると、前回に引き続き「自分の健康を害する」が最も高く、次いで「家族の介護が必要になる」、「特に不安はない」などの順になっている。また、「勤め先の都合により自分の仕事がなくなる」は9.2ポイント低下している。

【図表 13-1-5 仕事を続けられなくなる不安（前回調査との比較）】

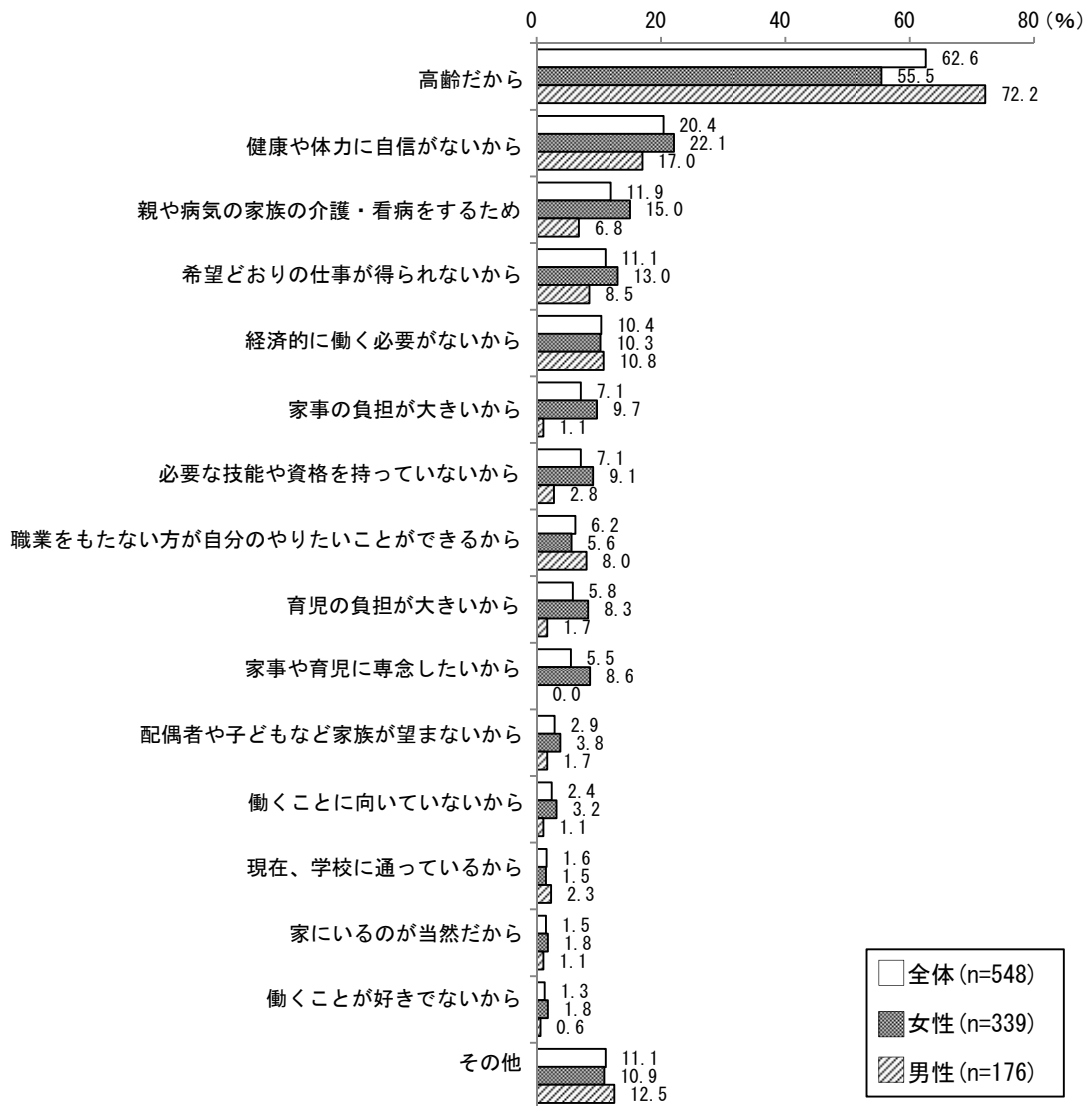


(3) 働いていない理由

問 12 で、2 と答えた方のみお答えください。

問 13-2 あなたが働いていない理由は何ですか。(○印はいくつでも)

【図表 13-2-1 働いていない理由】



◆職業を持っていない人のうち、6割の人が「高齢だから」

職業を持っていない人の働いていない理由について、「高齢だから」が62.6%と最も高く、次いで「健康や体力に自信がないから」(20.4%)、「親や病気の家族の介護・看病をするため」(11.9%)などの順となっている。「親や病気の家族の介護・看病をするため」は女性(15.0%)が男性(6.8%)を8.2ポイント上回っている。

<性・年齢別>

女性は、20代、30代で「育児の負担が大きいから」、「家事や育児に専念したいから」が上位に入っている。男性は、年代によりばらつきがみられる。

男女ともに20代は「現在、学校に通っているから」、60歳以上は「高齢だから」が最も高くなっている。

【図表 13-2-2 働いていない理由（性・年齢別）】

(単位:%)

		1位		2位		3位		
女性	20代	現在、学校に通っているから		26.3	育児の負担が大きいから		21.1	
		その他			家事や育児に専念したいから			
	30代	家事や育児に専念したいから	46.7	育児の負担が大きいから	43.3	家事の負担が大きいから		33.3
	40代	希望どおりの仕事を得られないから	41.7	育児の負担が大きいから	37.5	健康や体力に自信がないから		29.2
	50代	健康や体力に自信がないから		34.3	希望どおりの仕事を得られないから		25.7	
		親や病気の家族の介護・看病をするため						
60歳以上	高齢だから	80.1	健康や体力に自信がないから	21.8	親や病気の家族の介護・看病をするため		14.4	
男性	20代	現在、学校に通っているから	75.0	その他	25.0			-
	30代	経済的に働く必要がないから		33.3				-
		家事の負担が大きいから						
		育児の負担が大きいから						
		現在、学校に通っているから						
	40代	親や病気の家族の介護・看病をするため	100.0	健康や体力に自信がないから		50.0		
希望どおりの仕事を得られないから								
50代	健康や体力に自信がないから	50.0	経済的に働く必要がないから	33.3	親や病気の家族の介護・看病をするため		16.7	
					高齢だから			
					働くことが好きでないから			
					必要な技能や資格を持っていないから			
60歳以上	高齢だから	77.6	健康や体力に自信がないから	14.5	その他		13.2	

<地域別 1>

すべての地域で、「高齢だから」が最も高く、次いで「健康や体力に自信がないから」などの順となっている。

【図表 13-2-3 働いていない理由（地域別 1）】

(単位:%)

備前県民局管内		備中県民局管内		美作県民局管内		
1位	高齢だから	64.5	高齢だから	54.7	高齢だから	71.2
2位	健康や体力に自信がないから	20.0	健康や体力に自信がないから	20.9	健康や体力に自信がないから	17.3
3位	親や病気の家族の介護・看病をするため	12.1	その他	15.4	家事の負担が大きいから 希望どおりの仕事を得られないから	11.5

<地域別 2>

いずれの地域も、「高齢だから」が最も高く、中山間地域全域指定市町村(74.2%)がそれ以外の市町村(58.6%)を15.6ポイント上回っている。

【図表 13-2-4 働いていない理由（地域別 2）】

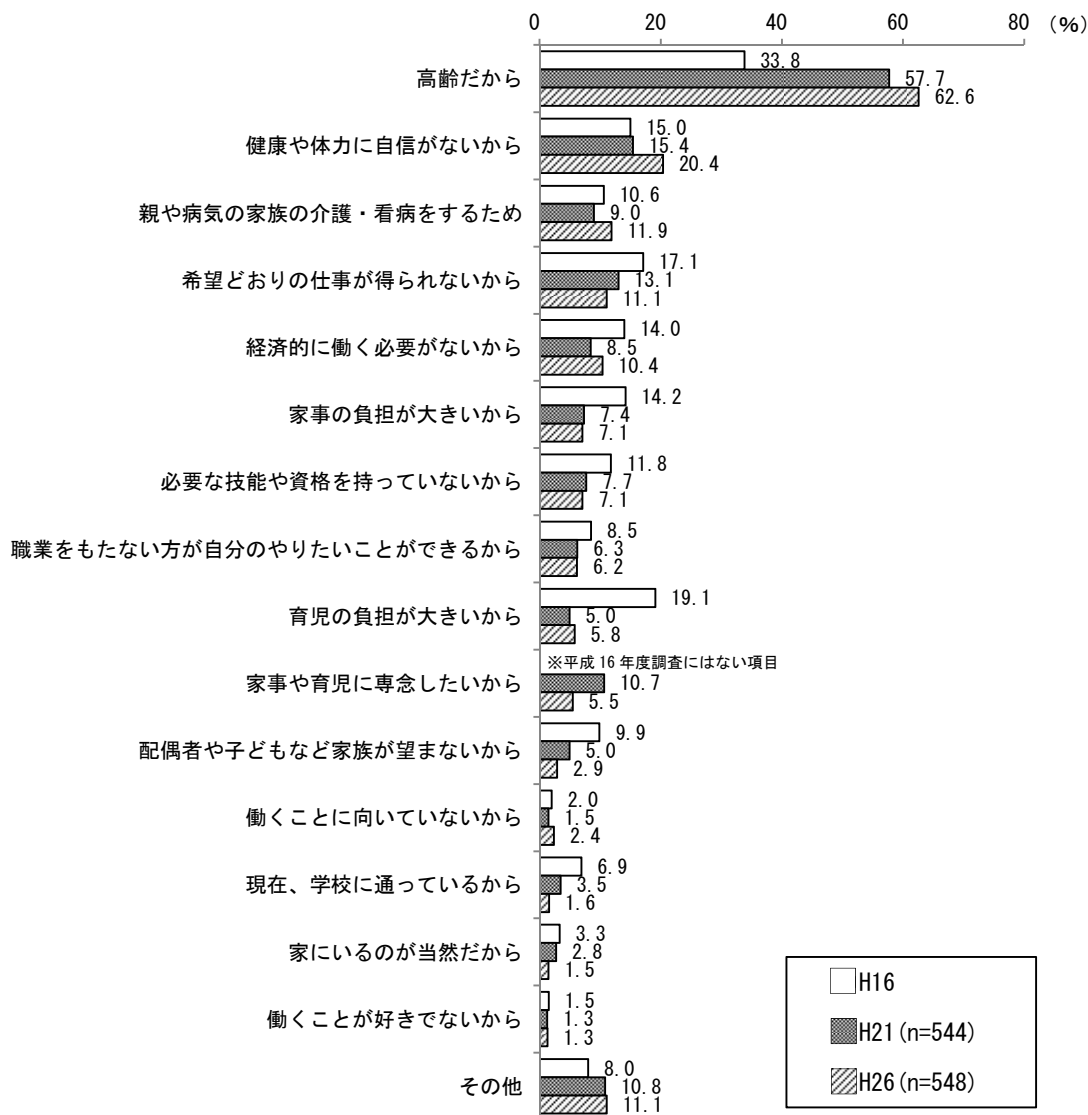
(単位:%)

中山間地域全域指定市町村		それ以外の市町村		
1位	高齢だから	74.2	高齢だから	58.6
2位	健康や体力に自信がないから	24.7	健康や体力に自信がないから	19.1
3位	親や病気の家族の介護・看病をするため	18.3	その他	11.8

<前回調査との比較>

H21年調査と比べると、前回に引き続き「高齢だから」が最も高くなっている。また、「健康や体力に自信がないから」は5.0ポイント上昇し、「家事や育児に専念したいから」は5.2ポイント低下している。

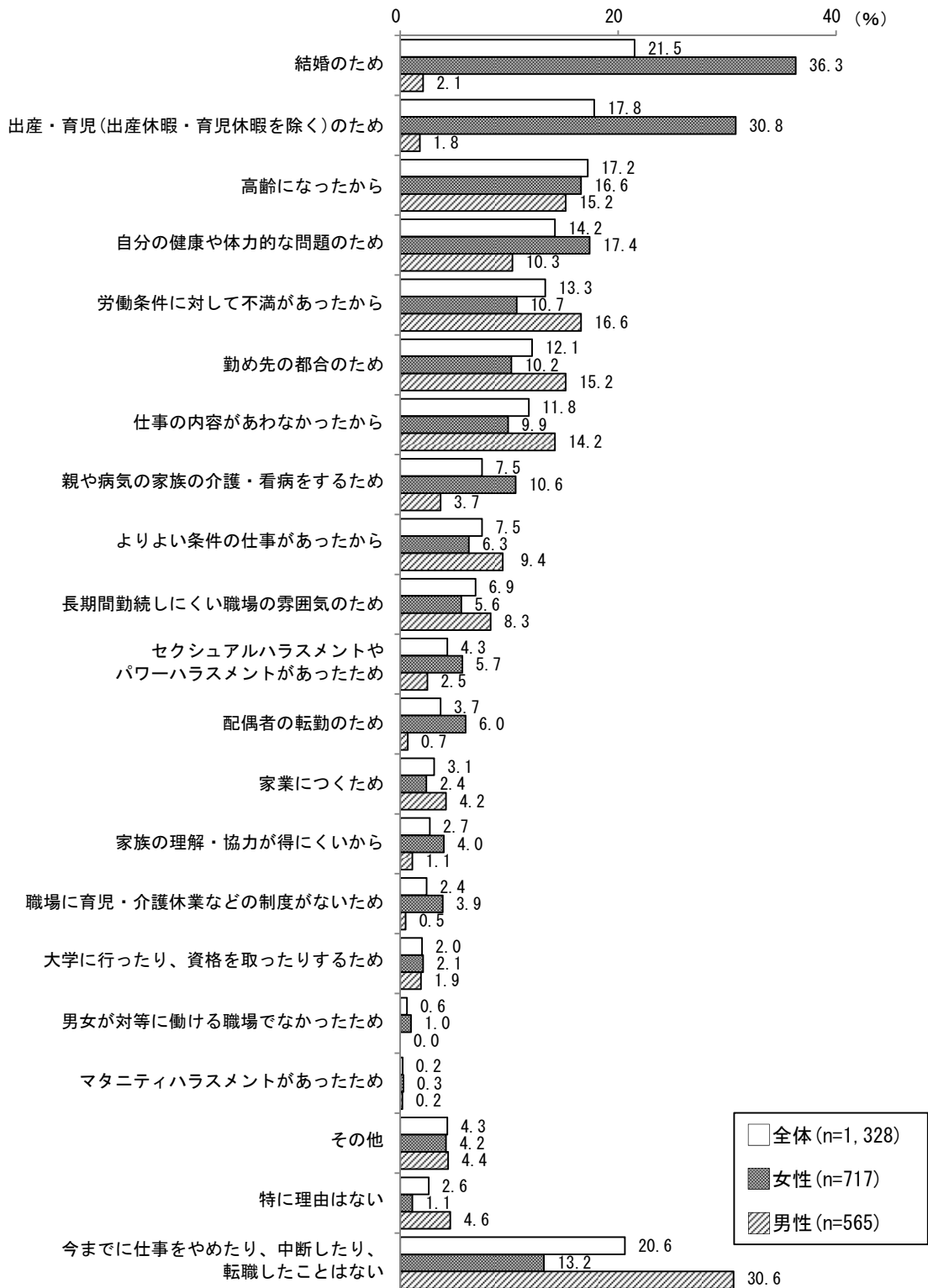
【図表 13-2-5 働いていない理由（前回調査との比較）】



(4) 仕事をやめたり、中断したり、転職した理由

問 14 あなたは、仕事をやめたり、中断したり、あるいは転職したことがありますか。あるとすれば、その理由は何ですか。(○印はいくつでも)

【図表 14-1 仕事をやめたり、中断したり、転職した理由】



◆「結婚のため」、「出産・育児（出産休暇・育児休暇を除く）のため」で男女に大きな差、「親や病気の家族の介護・看病をするため」も女性で1割を超える

仕事をやめたり、中断したり、転職した理由について、「結婚のため」が21.5%と最も高く、次いで「出産・育児（出産休暇・育児休暇を除く）のため」（17.8%）、「高齢になったから」（17.2%）などの順となっている。「結婚のため」は34.2ポイント、「出産・育児（出産休暇・育児休暇を除く）のため」は29.0ポイント、「親や病気の家族の介護・看病をするため」は6.9ポイントの差で女性が男性を上回っている。一方、「今までに仕事をやめたり、中断したり、転職したことはない」は男性（30.6%）が女性（13.2%）を17.4ポイント上回っている。

<性・年齢別>

女性は、20代を除くすべての年代で「出産・育児（出産休暇・育児休暇を除く）」、「結婚のため」が上位に入っている。

男性は、20代から50代で「今までに仕事をやめたり、中断したり、転職したことはない」が最も高く、次いで「労働条件に対して不満があったから」などの順となっている。

【図表 14-2 仕事をやめたり、中断したり、転職した理由（性・年齢別）】

(単位:%)

		1位		2位		3位	
女性	20代	今までに仕事をやめたり、中断したり、転職したことはない	44.1	労働条件に対して不満があったから	20.3	仕事の内容があわなかったから	16.9
	30代	出産・育児(出産休暇・育児休暇を除く)のため	39.3	結婚のため	26.2	自分の健康や体力的な問題のため 労働条件に対して不満があったから	22.4
	40代	出産・育児(出産休暇・育児休暇を除く)のため	46.8	結婚のため	38.7	自分の健康や体力的な問題のため	17.7
	50代	結婚のため	44.9	出産・育児(出産休暇・育児休暇を除く)のため	33.8	自分の健康や体力的な問題のため	21.3
	60歳以上	結婚のため	42.1	高齢になったから	41.0	出産・育児(出産休暇・育児休暇を除く)のため	21.6
男性	20代	今までに仕事をやめたり、中断したり、転職したことはない	60.0	労働条件に対して不満があったから 仕事の内容があわなかったから			14.3
	30代	今までに仕事をやめたり、中断したり、転職したことはない	35.4	労働条件に対して不満があったから	32.3	仕事の内容があわなかったから	20.0
	40代	今までに仕事をやめたり、中断したり、転職したことはない	29.1	労働条件に対して不満があったから	27.8	仕事の内容があわなかったから	21.5
	50代	今までに仕事をやめたり、中断したり、転職したことはない	44.0	労働条件に対して不満があったから	16.5	よりよい条件の仕事があったから	14.3
	60歳以上	高齢になったから	28.3	今までに仕事をやめたり、中断したり、転職したことはない	23.2	勤め先の都合のため	16.5

<地域別 1>

備前県民局管内、美作県民局管内は「結婚のため」が最も高く、備中県民局管内は「今までに仕事をやめたり、中断したり、転職したことはない」が最も高くなっている。

【図表 14-3 仕事をやめたり、中断したり、転職した理由（地域別 1）】

(単位:%)

	備前県民局管内	備中県民局管内	美作県民局管内
1位	結婚のため 21.7	今までに仕事をやめたり、中断したり、転職したことはない 21.9	結婚のため 24.7
2位	今までに仕事をやめたり、中断したり、転職したことはない 20.4	結婚のため 20.7	今までに仕事をやめたり、中断したり、転職したことはない 20.3
3位	高齢になったから 19.4	出産・育児(出産休暇・育児休暇を除く)のため 20.3	出産・育児(出産休暇・育児休暇を除く)のため 19.0

<地域別 2>

中山間地域全域指定市町村は「高齢になったから」、それ以外の市町村は「結婚のため」が最も高くなっている。

【図表 14-4 仕事をやめたり、中断したり、転職した理由（地域別 2）】

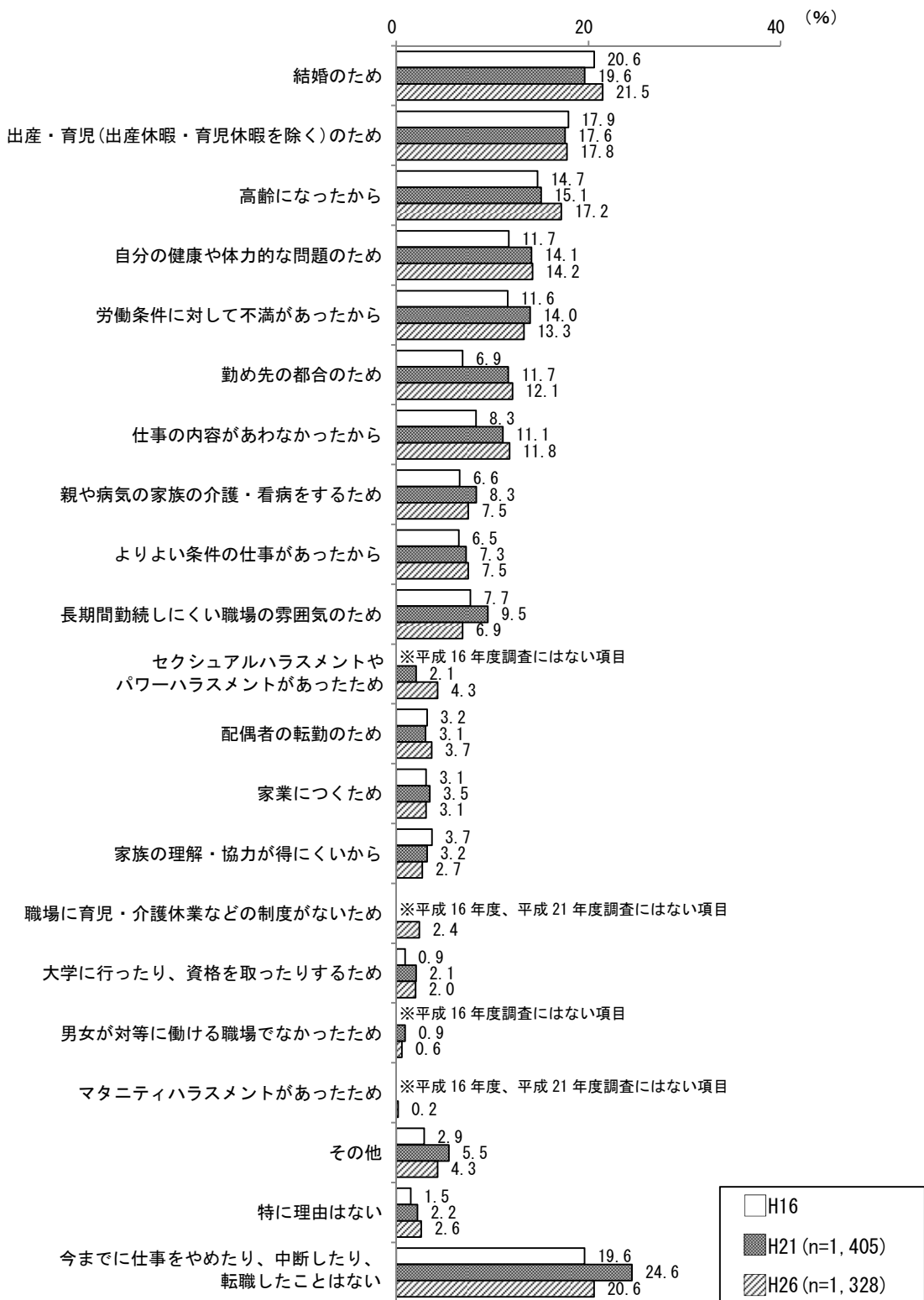
(単位:%)

	中山間地域全域指定市町村	それ以外の市町村
1位	高齢になったから 21.9	結婚のため 21.7
2位	結婚のため 21.5	今までに仕事をやめたり、中断したり、転職したことはない 21.6
3位	出産・育児(出産休暇・育児休暇を除く)のため 18.9	出産・育児(出産休暇・育児休暇を除く)のため 17.7

＜前回調査との比較＞

H21年調査と比べると、前回2位の「結婚のため」が最も高くなっており、次いで「今までに仕事をやめたり、中断したり、転職したことはない」、「出産・育児(出産休暇・育児休暇を除く)のため」などの順になっている。

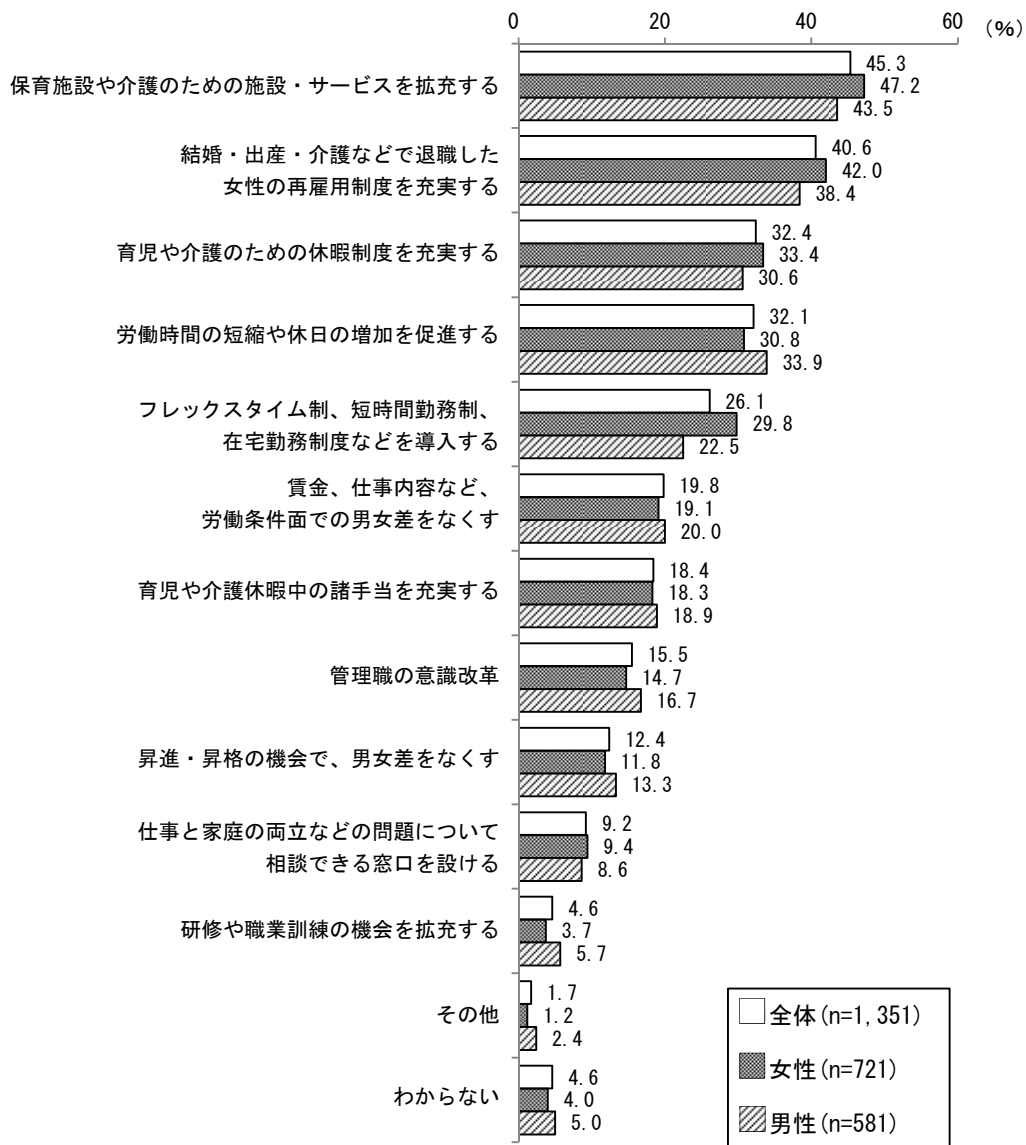
【図表 14-5 仕事をやめたり、中断したり、転職した理由（前回調査との比較）】



(5) 男女が共に「仕事と生活の調和」を図るために必要なこと

問 15 男女が共に「仕事と生活の調和」を図るためには、どのような条件の整備が必要であるとお考えですか。(○印は3つまで)

【図表 15-1 男女が共に「仕事と生活の調和」を図るために必要なこと】



◆「保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する」への期待が強い

男女が共に「仕事と生活の調和」を図るために必要なことについて、「保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する」が45.3%と最も高く、次いで「結婚・出産・介護などで退職した女性の再雇用制度を充実する」(40.6%)、「育児や介護のための休暇制度を充実する」(32.4%)などの順になっている。

「保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する」(女性：47.2% 男性：43.5%)、「結婚・出産・介護などで退職した女性の再雇用制度を充実する」(女性：42.0% 男性：38.4%)は女性が男性を上回っている。

<性・年齢別>

男女ともに、すべての年代で「保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する」、「結婚・出産・介護などで退職した女性の再雇用制度を充実する」、「労働時間の短縮や休日の増加を促進する」、「育児や介護のための休暇制度を充実する」のいずれかが上位に入っている。

【図表 15-2 男女が共に「仕事と生活の調和」を図るために必要なこと（性・年齢別）】

		1位		2位		3位	
女性	20代	結婚・出産・介護などで退職した女性の再雇用制度を充実する	54.8	労働時間の短縮や休日の増加を促進する	45.2	保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する	41.9
	30代	労働時間の短縮や休日の増加を促進する	51.9	保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する	43.4	結婚・出産・介護などで退職した女性の再雇用制度を充実する	36.8
	40代	フレックスタイム制、短時間勤務制、在宅勤務制度などを導入する	43.9	保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する	39.0	労働時間の短縮や休日の増加を促進する 結婚・出産・介護などで退職した女性の再雇用制度を充実する	38.2
	50代	保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する	51.8	結婚・出産・介護などで退職した女性の再雇用制度を充実する	39.4	育児や介護のための休暇制度を充実する	37.2
	60歳以上	保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する	51.6	結婚・出産・介護などで退職した女性の再雇用制度を充実する	44.7	育児や介護のための休暇制度を充実する	33.8
男性	20代	労働時間の短縮や休日の増加を促進する	48.6	育児や介護のための休暇制度を充実する 結婚・出産・介護などで退職した女性の再雇用制度を充実する			37.1
	30代	保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する 育児や介護のための休暇制度を充実する		39.4	労働時間の短縮や休日の増加を促進する		37.9
	40代	保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する	40.0	労働時間の短縮や休日の増加を促進する	36.3	結婚・出産・介護などで退職した女性の再雇用制度を充実する	32.5
	50代	保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する	42.6	労働時間の短縮や休日の増加を促進する	36.2	育児や介護のための休暇制度を充実する	35.1
	60歳以上	保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する	48.8	結婚・出産・介護などで退職した女性の再雇用制度を充実する	42.4	労働時間の短縮や休日の増加を促進する	30.7

<地域別 1>

備前県民局管内、備中県民局管内は「保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する」、美作県民局管内は「結婚・出産・介護などで退職した女性の再雇用制度を充実する」が最も高くなっている。

【図表 15-3 男女が共に「仕事と生活の調和」を図るために必要なこと（地域別 1）】

(単位:%)

	備前県民局管内		備中県民局管内		美作県民局管内	
1位	保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する	46.2	保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する	45.7	結婚・出産・介護などで退職した女性の再雇用制度を充実する	46.1
2位	結婚・出産・介護などで退職した女性の再雇用制度を充実する	38.8	結婚・出産・介護などで退職した女性の再雇用制度を充実する	41.1	保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する	43.6
3位	育児や介護のための休暇制度を充実する	33.2	労働時間の短縮や休日の増加を促進する	33.3	育児や介護のための休暇制度を充実する	35.2

<地域別 2>

いずれの地域も「保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する」が最も高くなっており、次いで「結婚・出産・介護などで退職した女性の再雇用制度を充実する」の順となっている。中山間地域全域指定市町村は「労働時間の短縮や休日の増加を促進する」、それ以外の市町村は「育児や介護のための休暇制度を充実する」が3位に入っている。

【図表 15-4 男女が共に「仕事と生活の調和」を図るために必要なこと（地域別 2）】

(単位:%)

	中山間地域全域指定市町村		それ以外の市町村	
1位	保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する	41.2	保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する	46.7
2位	結婚・出産・介護などで退職した女性の再雇用制度を充実する	40.8	結婚・出産・介護などで退職した女性の再雇用制度を充実する	40.6
3位	労働時間の短縮や休日の増加を促進する	38.0	育児や介護のための休暇制度を充実する	32.4

<前回調査との比較>

H21年調査と比べると、前回に引き続き「保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する」が最も高く、次いで「結婚・出産・介護などで退職した女性の再雇用制度を充実する」、「育児や介護のための休暇制度を充実する」の順となっている。また、いずれの項目も割合が低下している。

【図表 15-5 男女が共に「仕事と生活の調和」を図るために必要なこと（前回調査との比較）】

(単位:%)

	H26年		H21年		H16年	
1位	保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する	45.3	保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する	53.3	保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する	57.0
2位	結婚・出産・介護などで退職した女性の再雇用制度を充実する	40.6	結婚・出産・介護などで退職した女性の再雇用制度を充実する	41.6	結婚・出産・介護などで退職した女性の再雇用制度を充実する	54.8
3位	育児や介護のための休暇制度を充実する	32.4	育児や介護のための休暇制度を充実する	34.4	育児や介護のための休暇制度を充実する	43.1